
高速道路にドクターヘリが降りられるようになるまで

(益子邦洋、救急医療ジャーナル 15: (6) 36-41, 2007)

2012年6月22日、災害医学抄読会 <http://plaza.umin.ac.jp/~GHDNet/circle/>

☆ドクターヘリとは

救急医療用の医療機器等を装備したヘリコプターであって、救急医療の専門医および看護師等が同乗し救急現場等に向かい、現場等から医療機関に搬送するまでの間、患者に救急医療を行うことができる専用のヘリコプターのことをいう。出動の際にはパイロット、整備士、医師、看護師の4人が出動する。傷病者が複数あるいは重症度や緊急性が高い場合には、さらに医師を増員して出動することもある。

☆ドクターヘリの効果

ドクターヘリは機動性と迅速性が高いことが特徴である。ヘリコプターは時速 200km 以上で飛行することが可能なため、地上を走るドクターカーの3分の1、ときには5分の1ほどの時間で救急現場に到着することができる。また、道路の状況によらず救急現場に遅滞なく到着することができ、救急車と異なり、振動が少なく不快感が少ないことも利点としてある。

☆ドクターヘリの離着陸について

ドクターヘリの機動性を最大限に活かすため、国レベルで高速道路本線上への離着陸について検討が開始された。高速道路におけるヘリコプターの離着陸場所として、ヘリポートやサービスエリアなどの広さのある場所が望ましいとされるが、現場の近くに有効な場所がない場合、高速道路本線上に着陸が必要な場合がある。ドクターヘリ運航対象地域において、離着陸帯の広さや交通規制の実施等一定の条件を設定した上で、運用を行うことが必要であるとされた。千葉県において、高速道路全線を対象に対象となる高速道路の道路幅、障害物の有無等を調査し、ドクターヘリ離着陸難易度を検討した結果、下記のようになった。

- A ランク (反対車線の交通規制は不要) :16 ヶ所
- B ランク (反対車線の速度規制が必要) :35 ヶ所
- C ランク (反対車線の通行止めが必要) :1899 ヶ所
- D ランク (着陸は行わない) :2406 ヶ所

*ランクヶ所数は、高速道路本線 100m ごとの評価結果による

これにより協議会が開催され、千葉県ドクターヘリが高速道路本線上に着陸し、救急

医療活動を行うことが承認され（平成 19 年 4 月 1 日）、県内の高速道路のほぼ全線を対象として、高速道路上の重大な事故等に対してドクターヘリが出動し救助ならびに救急医療活動を行うことが可能となった。

☆考察

このドクターヘリの高速道路本線上への離着陸はいまだ全国の中でもかなり限られている。実際に着陸をするための手続き等による遅れのため、救急車が到着してもヘリがおりられないこともあった。しかし各都道府県においてドクターヘリを高速道路本線上に離着陸できるように訓練をしているので、将来に期待したいと思う。

九州では西日本高速道路会社が太宰府～久留米間でドクターヘリによる救助を実施しています。そこだけが片側 3 車線確保されているか（前後の区間は片側 2 車線）。

さらにその区間でも、福岡空港の離着陸空域と干渉したり、道路の上がトンネルや橋梁で覆われていたり、照明灯や案内板・標識などの障害物があったりして、実際に離着陸できる場所はかなり限られている。